



令和 8 年 6 月 4 日

報道機関 各位

イノベーションフォーラムの開催 -GX 推進企業等の実践例を紹介-

東信州次世代産業振興協議会(事務局:上田市)と一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)は、2026年6月18日に「AREC・Fii プラザ イノベーションフォーラム 2026」を開催します。上田市が令和 7~9 年度に取り組む「未来創生 GX 推進事業」での企業実践において、大学との連携視点を加味した GX・コスト高対策・新事業創出にフォーカスした内容となります。

1 日時 : 令和 8 年 6 月 18 日 (木) 14:00~18:30

2 場所 : 上田東急 REI ホテル 3 階信濃

3 内容 : 1 部 講演会 (大学・未来創生 GX 推進事業参画企業等)

2 部 展示会・交流会(17:00 から)

4 参加費 : 無料

交流会参加の場合のみ 5,000 円

※ただし、AREC・Fii プラザ会員は交流会も無料

5 詳細・申込 URL

AREC 公式ページ: <https://arecplaza.jp/archives/3139>

東信州次世代イノベーションセンター:

<https://higashishinshu-ngic.com/project/8309/>

上田市は「SDGs 未来都市」です。



本件に関する問合せ先

上田市 商工課

課長 竹内 (担当 石川)

TEL 0268-23-5396

上田市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

上田市、大学連携の視点も加えた GX 推進企業の実践例を紹介

～ イノベーションフォーラム ～

【概要】

東信州次世代産業振興協議会(事務局:上田市)と一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)は、2026年6月18日に「AREC・Fii プラザ イノベーションフォーラム 2026」を開催する。テーマは、「未来創生 GX 推進事業から生まれた実践知 ～企業の実践と大学の連携視点から読み解く GX・コスト高対策・新事業創出～」。

【背景】

AREC は、信州大学繊維学部ファイバーイノベーション・インキュベーター施設(Fii)と連携して「AREC・Fii プラザ」を運営しており、産学官連携やレンタルラボ・シェアオフィス等の取り組みを進めている。

AREC はこれまでも、会員企業が多く集う機会に合わせて、異業種交流・連携支援の場を提供してきた。2025年6月20日に開催した「イノベーションフォーラム」は、AREC のコーディネータが初の試みとして、従来の異業種交流の「ものづくりパートナーフォーラム」を更に発展させ、例年の「事業報告会」と同時開催としたもの。東信州の企業を中心に11社が新製品・新技術等をプレゼンした。また、この11社に「長野県中小企業家同友会」の会員企業を含めた5社も合わせ、計16社が展示紹介した。会場には、遠方からの参加も含め130名以上が集まり、熱心な情報交換が行われた。

関連記事: 2025.6.21の信濃毎日新聞13面、2025.6.25の信州民報2面など

今年のイノベーションフォーラムは、昨年と同イベントをふまえ、上田市が令和7～9年度に取り組む「未来創生 GX 推進事業」での企業実践において、大学との連携視点を加味した GX・コスト高対策・新事業創出にフォーカスした内容で開催する。

GX(グリーン・トランスフォーメーション)は、エネルギーの安定供給・経済成長・排出削減の同時実現を目指す、国のプロジェクトの一つ。上田市は、地元企業が GX 推進やコスト高対策等の重点的な社会課題に対して“自らの力で”解決していくという新しい形で支援することで、地域のさらなる活性化を図る事業を進めている。今年のイノベーションフォーラムでは、企業・団体だけでなく、県内の大学側も2例、連携実践に基づいて意見を発表するプログラムとした。

【イベントについて】

日時:2026年(令和8年)6月18日(木) 14:00~18:30

場所:上田東急 REI ホテル 3階信濃(上田市天神4-24-1)

開催方法:会場及び YouTube ライブ配信

内容:1部 講演会(大学・未来創生 GX 推進事業参画企業等)

2部 展示会・交流会

参加費：展示会・交流会参加者は5,000円（AREC・Fii プラザ会員は無料）

詳細や最新情報は、以下 URL を参照。

【AREC】

<https://arecplaza.jp/archives/3139>

【東信州次世代イノベーションセンター】

<https://higashishinshu-ngic.com/project/8309/>

【本イベントの特徴や期待される効果】

●1部 講演会：大学より「産学連携・地域連携の在り方について」（30分×2名）

信州大学及び公立諏訪東京理科大学の教員が、自身の連携経験に基づいて意見を発表する。参加企業にとっては、大学側からの生の声を聴いて新たな視点を得る貴重な機会となる。

●1部 講演会：未来創生 GX 推進事業に参画の企業等より「参画プロジェクトの紹介など」（15分×6社）

「GX 推進」の具体的な実践内容に関する発表・展示。「GX 推進といっても、自社ではどこからどう始めればよいか見当がつかない」「異業種における効率化・省人化などの取り組み事例を参考にしたい」などの観点で、参加企業での新たな気づきが生まれる効果が期待される。

●2部 展示会・交流会（90分）

今年は、展示エリアと交流会スペースを同じ部屋に設営し、展示会と交流会を同時開催する。講演した大学・企業等に、AREC・一般社団法人日本規格協会（JSA）・東信州 DX 大学（AREC 内の東信州次世代イノベーションセンターを中心に、地域特性を活かした DX 人材の育成を推進中）を加え、計 11 者が展示を行う。交流会の時間帯に、展示の前で担当者と直接やり取りできる体制のため、より活発かつ具体的な情報交換や人材交流が期待される。

【本イベントの開催に関し、担当者の意見】

上田市役所 商工課 次世代産業支援担当係長 石川

本フォーラムは、昨年度の企業間交流の機運をさらに発展させ、上田市が取り組む「未来創生 GX 推進事業」の実践内容を地域企業の皆様に共有する機会として開催します。

GX やコスト高対策、新事業創出は重要なテーマである一方、具体的な取組の進め方に悩む企業も少なくありません。今回は、事業参画企業等の実践例に加え、大学側からの産学連携・地域連携の視点も紹介します。

講演会だけでなく展示会・交流会も同時開催し、登壇者や支援機関と直接意見交換できる場を設けます。本フォーラムを通じて、企業・大学・支援機関の新たな連携が生まれ、地域全体で GX 推進や新たな価値創出に取り組む機運が高まることを期待しています。